



平成27年度 日野町町民大学講座を開催します

今年度の町民大学講座は、町村合併60周年記念事業の一環と位置づけ、「いのち」をテーマとして、多彩な講師により有意義な講義をしていただきます。受講料は無料です。

日野町内に在住・在勤の方で、本講座の受講（原則全4回＋特別講義参加）を希望される方は、所定の申込用紙（チラシ掲載）に必要事項を記入の上、お申込みください。チラシは教育委員会事務局や各公民館等にあります。

現地学習会は、第1回または第2回講義に出席された受講生から参加希望者を募り、研修費を別途徴収して実施します（10月頃、姫路方面を予定）。

なお、各回講義は受講生以外の方でも無料で参加していただくことができます。詳しくはチラシをご覧ください。



【第1回】 9月12日（土） 14:00～15:30 日野公民館ホール

- 演 題 「いのちをつなぐということ～看取りの現場に想う」
- 講 師 國森 康弘氏（写真家、ジャーナリスト）

神戸新聞社記者を経てイラク戦争を機に独立。アジアやアフリカなどの紛争地や経済貧困地域を回り、国内では、戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者たちの取材を重ねる。命の有限性と継承性がテーマ。近年では東近江市永源寺地域などで看取り、在宅医療、地域まるごとケアの撮影に力を入れる。永源寺地域を舞台にした写真絵本シリーズ『いのちつぐ「みとりびと」第1集』（農文協）で2012年度けんぶち絵本の里大賞を受賞。その他、2011年度上野彦馬賞グランプリなど受賞。

【第2回】 9月27日（日） 14:00～15:30 日野公民館ホール

- 演 題 「生命の尊さ・生きることって素晴らしい」
- 講 師 中溝 裕子氏（プロゴルファー、公益財団法人日本骨髄バンク評議員）

滋賀県彦根市生まれ。23歳でプロゴルフテストにトップ合格し、滋賀県出身初の女子プロゴルファーとなる。10万人に一人といわれる難病「骨髄異形成症候群」（白血病の一種）を患い、妹からの骨髄移植を受ける。移植後は拒絶反応により食事が摂れず3年間点滴生活をすごす。入院中に「絵手紙」を始める。NPO法人食といのちのお結び隊理事長。



【第3回】 11月20日（金） 18:30～20:00 わたむきホール虹大ホール

- 演 題 「命の授業」（仮題）
- 講 師 ゴルゴ松本氏（タレント）

1994年にレッド吉田さんとお笑いコンビ「TIM」を結成。「命」などの漢字を身体で表現するギャグで有名となる。2011年よりボランティアで少年院を慰問し、独自の漢字解釈を交えた講演を始める。最近になってその講演内容がインターネットやテレビなどで取り上げられ、注目されるようになる。2015年4月に『あっ！命の授業』（広済堂出版）を出版。

【第4回】 12月5日（土） 14:00～15:30 わたむきホール虹大ホール

- 演 題 「宇宙といのちの地球」（仮題）
- 講 師 秋山 豊寛氏（宇宙飛行士、農民、ジャーナリスト）

東京放送（TBS）在職中の1990年にソ連宇宙船ソユーズに搭乗し、日本人初の宇宙飛行士となる。宇宙ステーション内では自ら被験者となり睡眠実験などを行う。1995年にTBSを退職した後は、福島県へ移住し無農薬農業を営み、「あぶくま農業者大学校」を主宰する。その一方で、食や環境に関する講演や執筆活動に取り組む。2011年3月の福島原子力発電所事故により原発難民となる。京都造形芸術大学芸術学部教授。



◆申し込み・問い合わせ先 生涯学習課内日野町立中央公民館 ☎6566